

2021 年度 授業評価アンケート

1. 授業評価アンケートについて

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

(2) 各教員宛通知内容

(3) 授業アンケート結果

①-1 前期授業評価アンケート結果 (1 学年)

①-2 後期授業評価アンケート結果 (1 学年)

②-1 前期授業評価アンケート結果 (2 学年)

②-2 後期授業評価アンケート結果 (2 学年)

(2) 各教員宛通知内容

各教員は、自分が担当する授業アンケートの結果について、全ての内容を確認します。

(3)

①-1 前期授業評価アンケート結果（1学年）

前期1学年のアンケート調査は、対象20名に対し、2021年7月30日に実施しました。

【前期13科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎分野	身体哲学概論	前期	1	3	9
	医学用語	前期	20	10	1
	運動心理学	前期	5	7	1
	社会活動論	前期	3	7	0
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	前期	5	5	11
	解剖学Ⅲ	前期	3	4	16
	生理学Ⅰ	前期	4	5	12
	運動学Ⅰ	前期	11	10	5
	運動発達学	前期	10	10	3
	解剖学演習	前期	7	11	13
	リハビリテーション概論	前期	7	12	5
	チーム医療概論	前期	5	8	2
	理学療法評価概論	前期	11	11	12

理解度の高かった科目は、医学用語、運動学Ⅰ、運動発達学、理学療法評価概論でした。
興味深かった科目は、リハビリテーション概論、解剖学演習、理学療法評価概論でした。
難度の高かった科目は、解剖学Ⅲ、解剖学演習、生理学Ⅰ、理学療法評価概論でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(95%) ・どちらともいえない(5%) ・良くなかった(0%)】

- ・入学後、初めての内容の履修で不安もあったようですが、わかりやすい工夫がされており、興味深い内容が多く、集中して取り組めた等、肯定的な意見が多かったです。
- ・授業形態について、全て対面型で安心して取り組みましたが、実技演習が制限される期間があり、少し残念だという意見もありました。

・学校生活では、感染対策がしっかりされていることで勉強に取り組みやすかったという意見がありました。

・学生自治会行事では、イベントが制限され、残念だったという意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(65%) ・どちらともいえない(0%) ・利用しなかった(35%)】

・全体の約 6 割程度の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(65%) ・どちらともいえない(35%) ・良くなかった(0)】

・担当教員と復習時間が取れ、わからない内容に対してわかりやすく説明してもらえて、理解度が高まったという意見が多く、学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が6割程度いました。

・反面、どちらともいえない学生が3割程度で、制度を利用しなかった学生もおり、このような結果となりました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・特記事項なし

①-2 後期授業評価アンケート結果（1 学年）

後期 1 学年のアンケート調査は、20 名に対し、2022 年 2 月 17 日に実施しました。

【後期 21 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎分野	脳 科 学 概 論	通年	10	4	2
	医 学 英 語	通年	9	2	0
	情 報 科 学 演 習	通年	4	2	1
	発 達 心 理 学	後期	2	6	2
	人 間 発 達 学	後期	3	1	4
	A D L 概 論	通年	7	8	0
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 概 論	通年	4	4	1
	保 健 体 育	通年	7	6	2
専門基礎分野	解 剖 学 IV	後期	4	6	5
	解 剖 学 II	後期	4	3	6
	生 理 学 II	後期	6	5	3
	運 動 学 II	通年	3	3	5
	病 理 学 概 論	通年	0	4	13
	解 剖 生 理 学 演 習	通年	2	2	6
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学	通年	11	4	0
専門分野	運 動 療 法 概 論	通年	3	5	11
	物 理 療 法 概 論	通年	7	9	12
	理 学 療 法 評 価 学 I	通年	4	2	9
	理 学 療 法 評 価 学 II	通年	1	5	10
	理 学 療 法 評 価 学 III	通年	1	1	7
	障 害 者 ス ポ ー ツ 学	通年	8	8	0

- ・理解度の高かった科目は、リハビリテーション医学、脳科学概論、医学英語でした。
- ・興味深かった科目は、物理療法概論、ADL 概論、障害者スポーツ学でした。
- ・難度の高かった科目は、病理学概論、物理療法概論、運動療法概論でした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、臨床見学実習(医療施設)、臨床見学実習(学内代替実習)について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(90%) ・どちらともいえない(10%) ・良くなかった(0)】

- ・前期に比べて、授業内容の難度も高くなり、理解や暗記量が増え大変な反面、授業を終えた事の充実感や理解できた事等、肯定的な意見がおおくありました。
- ・しかし、後期も感染対策の為、実技授業の制限等に対して、残念だという意見も見られました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(60%) ・どちらともいえない(40%) ・良くなかった(0)】

- ・全体の約 6 割程度の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。
- ・どちらともいえないと回答した学生達は自宅学習と回答している意見が多かったです。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(60%) ・どちらともいえない(40%) ・良くなかった(0)】

- ・忘れがちな内容や理解できてない部分への対応について、学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が 6 割いました。
- ・反面、どちらともいえない学生が 4 割程度で、指導を受けてない学生が大半でした。

【臨床見学実習についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(95%) ・どちらともいえない(5%) ・良くなかった(0)】

- ・臨床見学実習について、ほぼ全員の学生が、肯定的に捉えていました。理学療法士の業務内容がイメージでき、学内では体験できない臨床体験の重要性を認識し、患者様や指導者から学ぶことが多かった事などの意見がありました。あわせて、実習での体験は、記憶にも残りやすく、もっと実習に行きたいなど、積極的な意見もありました。

【臨床見学実習の学内代替実習についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(55%) ・どちらともいえない(40%) ・良くなかった(5%)】

- ・コロナの影響がなければ、是非、実習に行つて様々な体験をしたかったという意見が多くありましたが、動画視聴や工夫された内容等、肯定的に捉えていた学生が約 50%いました。
- ・しかし、オンラインでは理解度が下がることや実習と同等なような理解ができない事などから、どちらともいえない学生も約 4 割いました。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・特記事項なし

②-1 前期授業評価アンケート結果（2 学年）

前期 2 学年のアンケート調査は、対象 29 名に対し、2021 年 7 月 30 日に実施しました。

【前期 16 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門 基礎 分野	生 理 学 III	前期	22	10	1
	運 動 学 III	前期	3	4	26
	運 動 学 IV	前期	10	9	10
	リハビリ整形外科学（沖田・榎本・池田）	前期	6	15	6
	リハビリ栄養・薬理学（小野・大坪・高橋）	前期	5	11	6
	老 年 病 学	前期	16	6	0
専門 分野	理 学 療 法 評 価 学 IV	前期	17	8	1
	関節機能障害理学療法学（宮内・薦田）	前期	2	7	13
	一 般 外 傷 理 学 療 法 学	前期	11	12	9
	脳 障 害 理 学 療 法 学 I	前期	1	11	23
	呼 吸 器 障 害 理 学 療 法 学	前期	9	10	11
	循 環 器 障 害 理 学 療 法 学	前期	1	4	21
	物 理 療 法 学	前期	10	17	4
	装 具 学	前期	9	4	4
	日 常 生 活 動 作 学	前期	6	8	6
	地 域 リ ハ ビ リ 学 I	前期	7	3	1

- ・理解度の高かった科目は、生理学Ⅲ、理学療法評価学Ⅳ、老年病学でした。
- ・興味深かった科目は、物理療法学、リハビリテーション整形外科学、一般外傷理学療法学でした。
- ・難度の高かった科目は、運動学Ⅲ、脳障害理学療法学Ⅰ、循環器障害理学療法学でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(59%) ・どちらともいえない(41%) ・良くなかった(0%)】

- ・昨年度前期のオンライン型主体の講義形態と比較し、本年度は対面型主体で実施でき、1 年生に比較すると難易度も高くなったが、充実感があったという意見が多かったです。また、実技主体の授業は、知識の定着も早く、理解しやすかった意見が多かったです。
- ・全体の約 4 割の学生は、どちらともいえないを選択しており、授業の難度が高くなった

事への不安やスケジュールなど、単に良かったという回答では無かった印象でした。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(34%) ・どちらともいえない(14%) ・利用しなかった(52%)】

・全体の約 3 割程度の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用して
おり、利用学生の満足度は高かったです。

・ただし、感染対策への対応もあり、全体の約 5 割の学生は自宅学習となりました。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(41%) ・どちらともいえない(52%) ・良くなかった(0)】

※無回答(7%)

・的確なアドバイスを受け、学習意欲が高まり、質問できる先生がいることで、安心感が
あったなど、全体の約 4 割の学生が、肯定的に捉えていました。また、勉強以外の事でも
フォローがあり安心したなどの意見がありました。

・全体の約 5 割の学生が、サポートについて、結果に直接結びつかなかった部分などか
ら、どちらともいえないと回答していました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・学生自治会行事を充実したいという意見がありました。

・学内の通信環境が悪い場合があるので対応してほしいという意見がありました。

②-2 後期授業評価アンケート結果（2 学年）

後期 2 学年のアンケート調査は、対象 29 名に対し、2022 年 2 月 26 日に実施しました。

【後期 21 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門基礎分野	生 理 学 IV	後期	10	2	4
	リ ハ ビ リ 内 科 学	通年	2	3	8
	リ ハ ビ リ 神 経 学	通年	3	7	5
	救 命 救 急 ・ リ ス ク 管 理 学	後期	21	6	0
	精 神 医 学	後期	4	7	9
	生 理 学 演 習	通年	8	5	3
	運 動 学 演 習	通年	11	9	11
専門分野	理 学 療 法 基 礎 セ ミ ナ ー I	通年	5	4	0
	理 学 療 法 評 価 学 V	通年	2	10	17
	理 学 療 法 評 価 学 演 習	通年	2	3	2
	ス ポ ー ツ 外 傷 理 学 療 法 学	通年	10	9	1
	末 梢 神 経 障 害 理 学 療 法 学	通年	8	7	14
	脊 髓 障 害 理 学 療 法 学	通年	6	17	23
	脳 障 害 理 学 療 法 学 II	通年	6	2	9
	脳 障 害 理 学 療 法 学 III	通年	6	4	7
	小 児 理 学 療 法 学	後期	5	16	8
	義 肢 学	通年	1	1	7
	運 動 療 法 技 術 学	通年	11	8	4
	認 知 神 経 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学	通年	4	8	8
	地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 II	通年	3	2	0
	生 活 環 境 論	通年	6	1	0

・理解度の高かった科目は、救命救急・リスク管理学、運動学演習、運動療法技術学でした。

・興味深かった科目は、脊髄障害理学療法学、小児理学療法学、理学療法評価学IVでした。

・難度の高かった科目は、脊髄障害理学療法学、理学療法評価学IV、末梢神経理学療法学でした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、臨床評価実習(医療施設)、臨床評価実習II(学内代替実習)について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(76%) ・どちらともいえない(24%) ・良くなかった(0)】

・昨年度のオンライン型主体の講義形態と比較し、本年度後期も対面型主体で実施でき、コロナ禍でも可能な学習環境に満足感をのべる意見が多くありました。

・また、対面型が多かったため、一部のオンライン授業では、対面型と比較して不便さを

感じる意見も散見されました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(38%) ・どちらともいえない(62%) ・良くなかった(0)】

・全体の約 4 割程度の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用して
おり、利用学生の満足度は高かったです。

・どちらともいえないと回答した学生達は自宅学習と回答している意見が多かったです。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(45%) ・どちらともいえない(55%) ・良くなかった(0)】

・質問への対応や学習意欲の面で、学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が約 4 割
いました。

・反面、どちらともいえない学生が約 5 割程度で、結果に結びつかなかった事や指導を受け
てない学生が大半でした。

【臨床評価実習Ⅰ(医療施設)についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(100%) ・どちらともいえない(0) ・良くなかった(0)】

・臨床評価実習Ⅰについて、全員の学生が、肯定的に捉えていました。

・実際に、患者様への対応や、評価の実際など全ての体験を肯定的に捉え、特に、学内で
は学ぶことができない内容や自分自身の課題が見つかった事等をあげていました。

【臨床評価実習Ⅱの学内代替実習についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(42%) ・どちらともいえない(48%) ・良くなかった(10%)】

・医療施設での実習が良かったという意見が多かったですが、オンラインによる学内代替
実習について、全体の約 4 割の学生が肯定的に捉えていました。

・オンラインでも、文献的考察の視点など持てるようになり良かったという意見もありま
した。

・ただし、全体の約 5 割の学生は、どちらともいえないと回答しており、オンラインでは
実践面に不安が残る事や課題の難度に関する意見が多かったです。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・特記事項なし